

柔道：単元計画（第2学年）

山田町立山田中学校

目標		1 技能 相手の動きに応じた基本動作から、基本となる技を用いて、投げたり抑えたりするなどの攻防を展開する。 2 態度 柔道に積極的に取り組むとともに、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなど や、 3 知識、思考・判断 柔道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方や仲間との関わりを工夫できるようにする。											
		時間	1	2	3	4	5	6（本時）	7	8	9	10	
学習 内容 ・ 学習 活動	0	オリエンテーション	準備・座礼・学習内容の確認・準備運動・補強運動										
	5		基本動作（受け身・既習内容の確認・習得）										
	10		既習技の復習（固め技） ①	既習技の復習（投げ技）② （小内刈り・大内刈り・膝車・支え釣り込み足・大外刈り・大腰等）			相手の不安定な体勢をとらえた技のかけ方の練習① （グループ学習）				条件を設定したごく簡単な試合		
	15						相手の不安定な体勢をとらえた技のかけ方の練習② （約束練習，自由練習）						
	20												
25													
30													
35													
40													
45													
50	まとめ												
備考 留意点 資料等		安全に十分留意するとともに、次の流れで学習を進める。 1 単元を通しての学習課題や活動の進め方、柔道の歴史や伝統的な行動の仕方、学習する技の紹介等のオリエンテーションを行う。 2 基本動作・固め技の復習を行う。 3～4 受け身の復習，小内刈り，大内刈り，膝車，支え釣り込み足，大外刈り，大腰の復習を行う。 5～8 相手の不安定な体勢をとらえた技のかけ方の練習と自由練習を行う。 9～10 学習の成果の確認として，簡単な試合を行う。 ※ 資料として，オリジナルの指導書「柔道一直線」を活用する。											

学習資料を効果的に併用して取り組んだ実践例

学 校 名 熱海市立熱海中学校（静岡県）

電 話 番 号 0557(81)0557

全校生徒数 247名（男子136名 女子111名）

種 目 等 武道（柔道） 第1学年

1 取組のねらい

平成24年度から「生きる力」を理念とした新学習指導要領が完全実施となり、「武道」が必修となる。生徒が自ら学び主体的に学習に取り組み、武道の特性に触れ安全に留意して授業を展開するためには教員の指導力が欠かせない。本校の保健体育科教員は、柔道の授業は未経験である。そこで、専門技能を持つ地域の指導者を県教育委員会から派遣してもらい、保健体育科教員とのTT体制を取り入れることで、生徒の関心や意欲を高め、相手を尊重する態度や礼儀の大切さを学びながら技能の向上をも図る。

2 取組の概要

（1）実施期間

平成23年11月7日～11月16日（1日2時間 合計14時間）

（2）対象学年

第1学年（3クラス） 男子：44人 女子：35人 合計79人

（3）目 的

我が国固有の文化に触れ、伝統的な行動を守り、安全に気を配るとともに、礼に代表される伝統的な考え方などを理解し、積極的に柔道に取り組むことのできる態度や能力を育成する。

（4）内 容

- ① 保健体育科教員（T1）、地域の指導者（T2）の2人によるTT体制での授業を実施した。地域の指導者は、技能の指導を中心に行った。
- ② 生徒が初めて柔道を行うので、受け身の基礎をしっかりと身に付けることができるよう段階的な指導するとともに、資料を掲示することで、生徒が工夫して学習できるようにした。また、伝統的行動の仕方を重点的に指導した。

○生徒の安全を確保するため配慮（工夫）したこと

- 1 授業の最初と最後に必ず健康観察をし、生徒の状況を観察した。
- 2 ノンスリップ畳の外側に古い畳を敷くことで、活動場所を広くとることができた。
- 3 2人組で投げ技や固め技を練習するときは、男子と女子に分けて行うとともに、教員の目が届くように、また、他と接触しないように安全面に注意して行った。

○成果と課題

- 1 地域の指導者の協力により、生徒が柔道に興味を持ち礼節を重んじる気持ちの育成につながる授業を実施することができた。
- 2 地域指導者の示範と掲示資料を併用することは、生徒が意欲的に取り組み、技能の習得に有効であった。また、教員にとっても、武道の伝統的な考え方や効果的な指導方法を学ぶことができ大変有効であった。
- 3 今後、地域の指導者の人材確保と事前打ち合わせのための時間確保などが課題である。

○研究内容

【地域の指導者による受け身の指導①】

地域の指導者による受け身の指導。写真は横受け身。



【掲示資料】

礼法や受け身、技のかけ方の連続写真を掲示。



【地域の指導者による受け身の指導②】

前回り受け身を地域の指導者が実際に見せながら生徒に指導する。



【自主的な学び】

壁の掲示資料を見て、自主的に技のかけ方をお互いに確認する生徒たち。

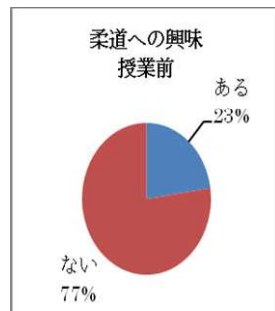


【柔道への興味 事前・事後アンケートより】

単元開始前，終了後でアンケートを実施した。終了後柔道に興味を持つ生徒が増えた。

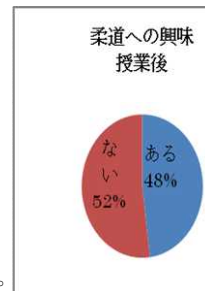
主な意見

- ・護身術になる。
- ・どんな感じで人が倒せるのか楽しみ
- ・技に興味がある。
- ・日本の文化の一つとして覚えない。



主な意見

- ・もっと技を覚えたい。
- ・上手に投げられるようになりたい。
- ・相手を逃がさないように抑え込みをしたい。
- ・受け身を完璧にしたい。



<実践を終えて>

- ・地域の指導者（8段）を招き指導を行ってもらったことで、生徒たちも興味関心を持ち、楽しみながら授業を行うことができた。
- ・地域の指導者と連携する中で担当教師が補足したり、できない生徒の補助をしたりすることで、効率よく指導を行うことができた。
- ・畳を常設できたので準備に時間をかけず、授業開始がスムーズに行えた。受け身などの基本練習に十分な時間を確保できた。
- ・礼法や受け身、技のかけ方などの写真を拡大して壁に掲示することで、順番を待っている生徒が自主的に動きの確認をする姿が見られた。

熱海市立熱海中学校 武道（柔道） 単元計画

	1年	2年	3年
1	柔道の歴史 礼法 座礼・立礼 柔道衣の着方・たたみ方 受け身 後ろ受け身 (体ほぐしの運動)	礼法 座礼・立礼 受け身 後ろ受け身 横受け身 前受け身 崩し, 崩しからの受け身	礼法 座礼・立礼 受け身 後ろ受け身 横受け身 前受け身 前回り受け身
2	受け身 後ろ受け身 横受け身 前受け身 前回り受け身 体ほぐしの運動を利用したの 受け身	受け身 横受け身 前受け身 前回り受け身 投げ技 膝車 かかり練習 固め技 けさ固め, 横四方固め	投げ技 膝車 体落とし, 大腰 約束練習 固め技 けさ固め, 横四方固め 上四方固め 約束練習 ルール, 審判法
3	受け身 横受け身 前受け身 前回り受け身 固め技 けさ固め 抑え方, 逃れ方 かかり練習	受け身 前回り受け身 投げ技 膝車, 体落とし かかり練習 約束練習 固め技 けさ固め, 横四方固め 固め技の攻防 かかり練習 約束練習	投げ技 大腰, 小内刈り かかり練習 約束練習 固め技 けさ固め, 横四方固め 上四方固め 約束練習 自由練習 ルール, 審判法
4	受け身 前回り受け身 体さばきと崩し 崩しと受け身 固め技 けさ固め かかり練習	投げ技 体落とし, 大腰 かかり練習 約束練習 固め技 けさ固め, 横四方固め 固め技の攻防 自由練習 ルール, 審判法	投げ技 連絡技 約束練習 自由練習 固め技 自由練習
5	受け身 前回り受け身 投げ技 膝車 かかり練習 固め技の攻防 約束練習	投げ技 大腰, 小内刈り かかり練習 固め技 上四方固め 逃げ方, 逃れ方 ルール, 審判法	投げ技 背負い投げ かかり練習 約束練習 固め技の攻防 簡単な試合
6	受け身 前回り受け身 投げ技 膝車 かかり練習 固め技 横四方固め かかり練習	投げ技 小内刈り かかり練習 約束練習 固め技の攻防 約束練習 自由練習	投げ技 背負い投げ, 払い腰 かかり練習 約束練習 固め技の攻防 簡単な試合
7	投げ技 体落とし 約束練習 固め技の攻防 約束練習	投げ技 連絡技 約束練習 固め技の攻防 自由練習	投げ技 自由練習 固め技 試合練習
8	投げ技 体落とし 約束練習 固め技の攻防 自由練習 礼法, 受け身のテスト	投げ技 連絡技 約束練習 自由練習 ごく簡単な試合	投げ技 簡単な試合 固め技 簡単な試合